

環境経営レポート

(2022 年度)

対象期間日 2022 年 5 月 1 日～2023 年 4 月 30 日

発行日 2023 年 7 月 30 日



有限会社 秋元工業
AKIMOTO INDUSTRIES

環境理念

主な仕事である粉体輸送機器やプラント内工事において、積極的に環境保護に参加するとともに地球環境保全を経営における最重要課題の一つと認識し、全従業員が環境保護活動に参加し、リサイクル等の諸活動を通じて地球環境保護に貢献するための努力を継続的に実施してまいります。

環境経営方針

当社は、粉体輸送機器の設置工事、プラントの配管工事、プラントの計装工事などの事業展開をする中で、環境理念達成に向けて、全社員一人ひとりが法を遵守し、実効性のある環境負荷活動を実践していきます。

- 1.環境関連法規を遵守し、環境汚染の未然防止に努めます。
- 2.環境負荷の低減及び環境への貢献を図るため、次の項目に重点的に取り組みます。
 - ①省エネに努め、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ②廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化を推進し廃棄物排出量の削減に努めます。
 - ③節水に努めます。
 - ④環境負荷の低減に資する工法や作業を行います。
- 3.環境経営システムを継続的に促進、改善に取り組みます。
- 4.環境経営方針を全従業員に周知し、教育、啓発活動を通じて環境に関する意識の向上を図ります。

2021 年 7 月 30 日 改訂
有限会社 秋元工業
代表取締役 秋元 雅臣

1.組織の概要

【事業所名】

■ 有限会社 秋元工業

【代表者名】

■ 代表取締役 秋元 雅臣

【所在地】

■ 本社 千葉県木更津市潮浜二丁目 1-49

【環境管理責任者及び担当者連絡先】

■ 環境管理責任者 武田 丈治

■ 連絡担当者 高梨 香織

■ 連絡先 TEL 0438-30-0177

【事業活動内容】

■ 事業活動

- ・ 粉体輸送機器の設置工事
- ・ プラントの配管工事
- ・ プラントの計装工事

■ 建設業許可

許可番号 千葉県知事許可（般－4） 第 27457 号

許可の有効期間 令和 5 年 2 月 5 日から令和 10 年 2 月 4 日まで

建設業の種類 管工事業、機械器具設置工事業、電気工事業、とび・土木工事業

【設立年月日】

■ 1984 年(昭和 59 年)

【資本金】

■ 300 万円

【事業規模】

■ 売上高 20,100 万円(2022 年度)

■ 従業員 6 名

■ 延床面積 501.43 m²

■ 工事件数 67 件/年

【事業年度】

■ 5 月～4 月

【対象範囲(認証・登録範囲)】

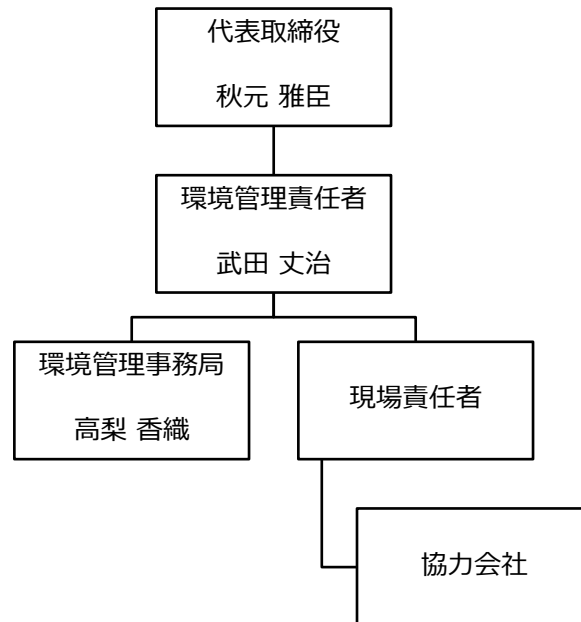
■ 対象事業所名：本社

■ 所在地：千葉県木更津市潮浜 2－1－49

■ 事業活動内容：粉体輸送機器の設置工事、プラントの配管工事、プラントの計装工事

【環境管理組織体制】

- 当社は環境マネジメントシステムを効果的に運用する為、下記のような推進組織を設置し役割、責任を明確化しております。



代表者の役割	代表者として環境経営における統括責任 環境経営方針の制定・見直し 運営において必要な資源の用意(人員・設備・資金) EA21 システムの全体的な評価と見直し
環境管理責任者の役割	環境経営システムの構築・維持 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況の確認 環境目標及び環境経営活動計画の策定 環境経営レポートの作成
環境管理事務局	環境への負荷、取組への自己チェックの実施 環境経営活動実績の集計、報告、環境経営活動計画の推進 教育、訓練の実施 外部からの環境に関する苦情や要望についての対応
現場責任者	施工現場での廃棄物の分別 環境関連法規等の遵守 エコドライブの実施 緊急時対応の実施 協力企業への環境経営活動要請
協力会社	環境経営活動計画の実行、提案、自主的行動

2.環境経営目標

項目	評価単位	2021 年度 基準(実績)	2022 年度 目標	2023 年度 目標	2024 年度 目標	2025 年度 目標
◆二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	25,306.99	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
電気の使用量	kWh	12,303	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
化石燃料(ガソリン)	ℓ	2,177	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
化石燃料(軽油)	ℓ	5,821	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
化石燃料(灯油)	ℓ	152	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
軽油車の燃費向上	km/ℓ	8.4	0.1%向上	0.2%向上	0.3%向上	0.4%向上
◆廃棄物の排出量の削減						
一般廃棄物	kg	998	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
産業廃棄物等（売却金属含む）	kg	1,800	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
リサイクル率の向上	%	100	98.0	98.0	98.0	98.0
◆水使用量の削減						
水道使用量(事務所)	m ³	102.0	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
◆環境配慮工事の実施						
フレア配管システムの採用数	回	1	1	1	1	1
◆化学物質保管量の管理						
化学物質保管量の確認	回	0	4	4	4	4

※ 電気の調整後排出係数は、電気の調整後排出係数は、（株）ハルエネ電力 令和4年環境省・経済産業省公表の調整後排出係数【0.395kg-CO₂/kWh】です。

※ 受注工事は、下請け工事が多く、現場での環境負荷は元請が管理するので、環境目標の数値管理には含めていません。

3.環境経営計画

二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	①社内全体での電気使用量の管理 ②昼休み時の消灯、不要な照明を消す ③空調の温度管理（夏季 28℃、冬季 20℃） ④オフィス機器を節電モードにする ⑤クールビズ、ウォームビズを推奨する ⑥外出時はパソコンの電源オフにする ⑦電動工具等、使用しない機器は電源を抜く	環境管理事務局
	燃料使用量の削減 （軽油、ガソリン、灯油） 燃費向上	①アイドリングストップ ②車両の日常点検の実施 ③急発進禁止 ④法定速度を守る ⑤車内の冷房を控える ⑥車両購入やリースする際省エネ車を使用する ⑦荷台に不要な物を載せない ⑧無駄な走行を無くす ⑨灯油の可能な範囲での使用量削減（工場）	現場責任者
廃棄物排出量の削減	廃棄物の削減	①コピー用紙などの節減 （ペーパーレス化、裏紙使用など） ②現場での廃棄物発生抑制 ③余った端材の有効活用	環境管理事務局 現場責任者 現場責任者
	リサイクル率の向上	①整理棚に銘板表示 ②工事現場での分別の徹底 ③リサイクル可能な処理業者への委託	環境管理事務局 現場責任者 環境管理事務局
水使用量の削減	排水量削減 （事務所の水使用量）	①節水表示設置 ②無駄な水の使用禁止 ③水漏れがないか定期的に水回りのチェック	環境管理事務局
環境配慮工事	フレア配管システムの採用数	①フレア配管システムによる工事を客先に提案する	現場責任者
化学物質	化学物質保管量の管理	①3 か月に 1 回保管量を確認する。	現場責任者

4.環境経営目標の実績及び達成状況

当社における環境経営目標と実績は下記の通りです。

項目	評価単位	2021 年度 実績(基準)	2022 年度 5 月～4 月目標		2022 年度 5 月～4 月実績	評価
◆二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	25,306.99	2.0%減	24,800.85	22,888.54	○
電気の使用量	kWh	12,303	2.0%減	12,057	11,993	○
化石燃料(ガソリン)	ℓ	2,177	2.0%源	2,133	2,566	×
化石燃料(軽油)	ℓ	5,821	2.0%減	5,705	4,589	○
化石燃料(灯油)	ℓ	152	2.0%減	149	144	○
軽油車の燃費向上	km/ℓ	8.4	維持向上	8.4	9.5	○
◆廃棄物の排出量の削減						
一般廃棄物	kg	998	2.0%減	978	2,616	×
産業廃棄物	kg	1,800	2.0%減	1,764	7,280	△
リサイクル率の向上	%	100	78%以上	98.0	100.0	○
◆水使用量の削減						
水道使用量	m ³	102.0	2.1%減	100.0	69.0	○
◆環境配慮工事の実施						
フレア配管システムの採用数	回	1	維持向上	1	3	○
◆化学物質保管量の管理						
化学物質保管量の確認	回	0	4	4	4	○

電気使用量（評価○）

基準年（2021 年度）の 12,303kWh に対し、11,993kWh と約 2.5%減少した。コロナウイルス感染症が落ち着き、少しずつ社外業務増加が一つの要因ではあるが、内作における機械設備の効率的な運用や省エネへの呼びかけが功を奏した。今後も社員一人一人の環境配慮行動の定着を目指す。太陽光発電システムでは、今期も使用量以上の 32,928kWh を買電できており、二酸化炭素排出の削減において非常に貢献できている。

化石燃料（ガソリン 評価×、軽油 評価○、灯油 評価○）

滞っていた打合せ・現場調査等の再開により、社用車の使用率が増加した。基準年のガソリン使用量が極端に少なかった為、今後の数値を見て適正な目標値を設定したい。

軽油使用量 約－21%、灯油使用量 約－5%減少した。燃費も向上し、県外の工事量がコロナ禍

前に戻りつつある中、毎日のエコドライブの意識の定着を感じる結果となった。次年度も目標達成できるよう期待したい。

一般廃棄物/産業廃棄物/リサイクル率（評価○）

基準年と比較して一般廃棄物が約 162%増、産業廃棄物量が約 304%増加し、一般廃棄物、産業廃棄物共に稀に見る増加率となった。産業廃棄物は毎年リサイクル出来る物が占める為、一般廃棄物の増加率についてのみ判断する。

今期は工場リフォームに関わる廃棄物の影響で、一般廃棄物が大幅に増加した。ゴミ分別を管理するリーダーを筆頭に、今期も皆が徹底した取り組みはできている中、リフォームにおける廃棄物の増加は致し方ない部分ではあるので、リフォーム完了後に適正な数値に差し替えたい。今後も分別もゴミを出さない工夫を凝らすと共にリサイクルにおいても高い水準を保てるよう今後も徹底して取り組む。

水使用量（評価○）

基準年よりも使用量が約 32%減少した。工場のリフォーム中という事もあり、全体の水使用量が減少したものと考えられる。リフォーム終了後に正確な数値の見直しをする予定。

フレア配管システムの採用数（評価○）

定期的な提案と採用ができています。

化学物質保管量の管理（評価○）

3 か月に一度保管数量の確認を行っている。

5.環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標		具体的な取組内容	評価	実施状況/是正策、次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	電 気 量 の削減	①社内全体での電気使用量の管理	△	①節電意識をもって取り組んでいるが、製作品増加による電気使用量増加により目標を達成できなかった。又、オフィスリフォーム工事、コロナ禍による社内業務増加の影響もあったと考えられる。「電気使用量の管理」を継続する。
		②昼休み時の消灯、不要な照明を消す。	○	②実施できている。 「昼休み時の消灯、不要な照明を消す」を継続。
		③空調の温度管理(夏期 28℃冬期 20℃)	△	③猛暑日など徹底できない日もあった。夏期、冬期はエアコンのフィルター洗浄、サーキュレーター等でエアコン効率を上げ、特に夏場は熱中症の危険性も十分に考慮し、可能な範囲で節電に務める。「空調の温度管理の徹底」を継続する。
		④オフィス機器を節電モードにする。	○	④実施されている。 「オフィス機器を節電モードにする」を継続。
		⑤クールビズ、ウォームビズを推奨する	○	⑤実施済み。 「クールビズ、ウォームビズを推奨する」を継続。
		⑥外出時パソコンの電源オフ	○	⑥徹底、実施できている。 「外出時パソコンの電源オフ」継続。
		⑦電動工具等、使用しない電化製品は電源を抜く	○	⑦実施済み。「電動工具等、使用しない電化製品は電源を抜く」を継続。
	燃 料 使 用 量の削減 (軽油、ガソリン) 燃費向上	①アイドリングストップ	○	① 実施できている 「アイドリングストップ」を継続する。 渋滞が多い沿線道路沿いの現場が多かった為、燃費は悪くなった。
		②車両の日常点検の実施	○	②車両毎に実施できている 「車両の日常点検の実施」を継続する。
		③急発進禁止	○	③実施できている 「急発進禁止」を継続する。
		④法定速度を守る	○	④実施できている 「法定速度を守る」を継続する。

		⑤車内の冷房を控える	○	⑤努力できている。 真夏などの熱中症の危険性など、その日の気温や体調を考慮しながら実施を継続する。
		⑥車両購入やリースする際省エネ車を使用する。	○	⑥購入はなかった。 「車両購入やリースする際省エネ車を使用」を継続する。
		⑦荷台に不要な物を載せない。	○	⑦実施できている。 「荷台に不要な物を載せない」を継続する。
		⑧無駄な走行を無くす。	○	⑧努力できている 「無駄な走行を無くす」を継続する。工事量増加と、県外での工事が多い為、今後も社員へのエコドライブの推進、周知の強化を図る。
廃棄物の排出量の削減	一般廃棄物の削減	①コピー用紙などの節減（ペーパーレス化、裏紙使用など）	○	①FAXのペーパーレス化により、紙使用量が大幅に削減出来ている。裏紙の使用も徹底できており目標を達成出来た。
	産業廃棄物等（売却金属含む）の削減	①現場での廃棄物抑制	○	①現場担当者が中心となり、実施出来ている。 「現場での廃棄物抑制」を継続する。
		②整理棚を作り、部材を管理する	○	②実施出来ている。 「整理棚による部材の管理」を継続。
		③余った端材の有効活用	○	③実施されている。 「余った端材の有効活用」を継続する。
	リサイクル率の向上	①整理棚の銘板表示	○	①整理棚に銘板を表示し、在庫数を明確にしたことで、無駄な部材の購入が無くなった。「整理棚の銘板表示」を継続。
		②工事現場での分別の徹底（元請業者指示に従う）	○	②現場担当者が中心となり、実施出来ている。 「工事現場での分別の徹底」を継続する。
		③リサイクル可能な処理業者への委託	○	③実施出来ている。 「リサイクル可能な処理業者への委託」を継続する。
水使用量の削減	排水量削減（事務所）	①節水表示設置	○	①節水表示を蛇口部に掲示し、節水の呼びかけを実施した。「節水表示の掲示」を継続する。
		②無駄な水の使用禁止	○	②実施出来ている。 「無駄な水の使用禁止」を継続する。
		③器具の水漏れ等がないか点検する。	○	③実施できている 「器具の水漏れ点検」を継続する。

環境配慮工事	フレア配管システム採用数	①フレア配管による工事を客先に提案する。	○	①実施出来ている。 工事見積り段階で積極的に提案していく。
化学物質	化学物質保管量の管理	①3 か月に 1 回保管量を確認する。		① 確認できている。 保管状況についても適切に確認する。

評価(注記)：○ 具体的な取り組み内容ができている △もう少し努力が必要 ×できなかった

◆次年度計画

今年度は一年通してコロナ禍以前の状況にほぼ戻り、全体的に特に問題の無い取り組み結果となりました。

ガソリン使用量増加においては、受託工事の大幅な増加により「打ち合わせ・現場調査（県外）等」によるものであり、工事量と比例しての増加の為に問題ないと考えています。

又、一般廃棄物の大幅増においても工場リフォーム中の為、致し方ない増加と捉えています。リフォーム工事終了まで引き続き増加傾向が続く予定です。今後の廃棄物量に注視していきます。

その他の目標達成項目に関しても引き続き継続した取り組みで目標をクリアしていきます。

◇次年度環境経営目標

項目	評価単位	2021 年度 基準(実績)	2022 年度 目標	2023 年度 目標	2024 年度 目標	2025 年度 目標
◆二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	25,306.99	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
電気の使用量	kWh	12,303	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
化石燃料(ガソリン)	ℓ	2,177	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
化石燃料(軽油)	ℓ	5,821	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
化石燃料(灯油)	ℓ	152	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
軽油車の燃費向上	km/ℓ	8.4	0.1%向上	0.2%向上	0.3%向上	0.4%向上
◆廃棄物の排出量の削減						
一般廃棄物	kg	998	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減

産業廃棄物等（売却金属含む）	kg	1,800	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
リサイクル率の向上	%	100	98.0	98.0	98.0	98.0
◆水使用量の削減						
水道使用量(事務所)	m ³	102.0	2.0%減	2.1%減	2.2%減	2.3%減
◆環境配慮工事の実施						
フレア配管システムの採用数	回	1	1	1	1	1
◆化学物質保管量の管理						
化学物質保管量の確認	回	0	4	4	4	4

6.環境関連法規等の遵守状況、違反、訴訟等の有無

- 廃掃法
- フロン排出抑制法
- 消防法等

環境関連法規の取りまとめ表に基づいて **2023 年 5 月 31 日** に遵守状況を確認しましたが、違反はありません。

また、近隣からの苦情、関連機関からの指摘や訴訟も過去 5 年間にありませんでした。

7.代表者による全体の評価、見直し結果

エコアクション 21 運用開始より節目の 10 年目に入りました。近年は新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵略があったりと、開始当初と現在の取り巻く環境が予想以上に大きく変化した 10 年間でした。

今期は材料価格が高騰し、厳しい状況下においても社員一人ひとりが出来ることを丁寧に実施し、目標以上の売上げを達成すると共に、昨年度と比較して各項目非常に健闘した結果となりました。目標達成できなかった項目においても総合的に判断すると致し方ない増加であったと考えます。今後も After コロナによる工事量増加が見込まれるので、数値の増減を注視し、都度判断していきます。

又、売上げ UP と同時に、更なる環境活動の重要性も増していることも実感しています。引き続き環境経営活動の取り組みについて工事毎に工夫を凝らし、売上更新とエコアクション 21 の環境負荷削減活動を活性化させていきます。